

高学年 目指す児童像

お互いの考えを尊重し合い、自分の考えを広げ深められる児童

単元名 「文章と対話しながら読み、自分の考えをもつ」

教材名 「生き物はつながりの中で」(光村図書出版)

めあて 自分の考えを発表し合い、意見交流をして、さらに自分の考えを深めることができる。

「生き物はつながりの中で」という説明文を教材として、「文章と対話しながら読む」すなわち筆者の意図をとらえ、自分の考えをもつという読み方の習得を目指し、学習を進めてきました。その中でワークシートを活用して、筆者の考えと自分の考えを明確にしていきました。また、児童同士の交流から、友達と自分の考えを比べてとらえ方の違いに気づき、友達の視点から自分の考えを見つめ直したり、自分の考えを改めたり、「自分の考えを深めていく」ことを身に付けられるように交流の方法やワークシートを工夫してきました。

研究授業ではサイドラインを引きながら読み取ったことをもとに、グループになって、自分の考えを発表しあいました。聞く側は、メモを取りながら発表を聞き、グループで交流し、まとめたことを発表しました。子どもたちは発表を聞きながら、自分の考えを深められたようです。

成果

- ・学習班を組んで、交流を行ったことで、友達の意見をしっかり聞く雰囲気が出た。
- ・交流したことで、自分の考えとは違う視点で、筆者の主張に対して、再考する児童が増えてきた。
- ・交流の中で、大事なことや意見の中心を落とさず、メモを取ることができるようになってきた。

課題

- ・交流の中で気づいた友達の意見との共通点や相違点を自分の書いた意見文に生かしていけるように、書き方のモデルを示すなどの指導や支援を工夫していく必要がある。